

第 2 回 金剛地区活性化に向けた意見交換会 まとめ

1. 開催概要

○日時：平成 28 年 7 月 31 日（日）午前 9 時 30 分～11 時 30 分

○場所：金剛連絡所 2 階ホール

○参加者：19 名（A 班：5 名、B 班：5 名、C 班：9 名）

※オブザーバー：大阪大谷大学（教員 2 名・学生 9 名）、NPO 法人きんきうえび
けあばる金剛

○プログラム

- ① あいさつ（まちづくり推進課）
- ② これまでの振り返りと今後の流れ
- ③ 金剛地区の目指す将来像及び実現に向けた取り組みについて
- ④ リーディングプロジェクトについて
- ⑤ その他

2. 当日の様子



3. 主な意見

金剛地区の目指す将来像及び実現に向けた取り組み、リーディングプロジェクトについて、3班に分かれて、意見交換を行った上で、全参加者で議論しました。

■目指す将来像及び実現に向けた取り組みについて

- 地区活性化のためには、ピュア金剛跡の活用が必要。UR都市機構から回答があるのか。
→UR都市機構は、策定協議会委員。今後、議論しながら考えていきたい。(事務局)
- 資料に「大規模な土地での建物更新や空き施設活用…」と記載があるが、UR賃貸住宅の建替えが決まっていると誤解を招きかねない。このような記載はしないほうがよいのでは。
→再生指針の位置づけ(2040年頃までを見据えた上で、直近10年後の取り組みをさだめる)を踏まえ、将来像として記載してはどうかという提案である。いただいたご意見を踏まえ、その他の取り組みについても誤解を招かないよう記載内容を見直す。(事務局)
- 富田林市では、現在、総合ビジョンや公共施設等総合管理計画が検討されているようだが、金剛地区は公共施設が多いので、関係すると思う。市から計画に関して説明してほしい。
→いずれの計画も検討し始めたばかりで、個別施設の方針を検討するのは来年度以降になると思う。庁内研究会を立上げ、連携できるよう、情報共有している。(事務局)
- 公共施設等総合管理計画などでは、人口減少が前提とされている。一方で、意見交換会などでは、若年世代をどう呼び込むか、地区を活発させるかという議論をしており、市全体の流れに逆行していないか混乱している。しかし金剛地区としては、今の状況・環境を引き継いで活かす方向で考えることができればよいと思う。また富田林市では、これまでと同様に、役所と住民らがともにまちづくりをしていくことができればよいと思う。
- 再生指針には、「だれがするんだ」(主体)ということを示すべきだと思う。
- 再生指針の位置づけとしては、20~30年先を見据え、今後10年でどんな行動をするかということだと思う。20~30年先を考えると、今位置づけられていないことも含め、議論しなければならないと思う。一定の人口がいるときにしかできないこともあるかもしれないと思うので、私たちが考え、市に対して訴えかけていければよいと思う。
- 将来像について、グローバル化の観点からみた問題提起・提案が必要では。

■②リーディングプロジェクトについて

「資料4」「資料5」の取り組み項目(例)①~⑤のうち「金剛地区活性化に向けて必要だと思う取り組み best3」を投票し、そのうち「私ができること」などについて意見交換を行った。

◆…資料の取り組み項目以外の内容、 ◎…委員の「私ができること」

将来像1 <いきいき安全安心>

1. 高齢者等のいきいきとした暮らしを多様な方法で支える

①買い物サービスの充実(7票)

- UR団地では、今秋からいずみ市民生協による移動販売を週1回実施する予定。UR団地

以外の住民も利用可能。

- ・エコール・ロゼには、配達システムを提案中。バス料金の補助、無料送迎バスのルートの新設ができないかと思う。

③高齢者の見守り活動（3票）

- ・あんしんコールなど、見守りのシステム導入、みんなで見守るしくみづくりが重要。
- ・地域とけあばる金剛が連携して、向こう三軒両隣を最小とした高齢者の見守り体制づくり。

④身近な健康相談の場づくり（1票）

- ◎薬に関する講演や健康相談等の無料実施
- ◎栄養士等と共催した食事相談やリハビリ体操教室の開催
- ◎高齢者の介護予防運動の指導 など

⑥公共交通の改善（3票）・⑦新たな移動サービスの導入（3票）

- ・既存の路線バスの充実・再編、団地内の巡回バスの運行、富田林病院の送迎バスの拡大、バス料金の低額化（チケットの発行）などができないだろうか。
- ・タクシーより安く気軽に頼めるような交通手段があればよい。

⑧住民みんなで健康増進（1票）

- ◎ウォーキングマップを作って健康づくり
- ◎認知症予防をテーマにした健康講座や体操等の実施（講師を呼ぶことが可能）
- ◎イベントなどの手伝いができる

⑨高齢者等の生きがい活動（1票）

◆生活相談（-）

- ◎自身の職業経験（コンサルタント）を活かして、生活困窮者等の支援

2. まちの安全を守る仕組みをつくる

⑩⑪地域一帯となった防災・防犯活動の強化（4票）

- ・基本的な連絡網を整備、子どもたちの登下校見守り、防犯カメラの設置など、地域一体、学校と連携した取り組みが必要では。
- ・災害時の要援護者支援が必要。金剛全体で展開してはどうか。

3. 子どもがまちで学び育つ環境をつくる

⑬子どもの学習・遊びの応援（4票）+子どもの見守り（1票）

- ・大学と連携し、学生が子どもに勉強を教えたり、遊んだりする仕組みができないだろうか。地域にいるリタイア層も参加すれば、3世代交流にもつながる。
- ◎子ども向けのイベントの開催
- ◎薬局での職業体験、医療機メーカーとコラボした職業体験の実施

4. 子育て世帯が安心して子育てできる環境をつくる

⑮親子で使える交流の場づくり（1票）

- ・親子の居場所として、青少年スポーツセンターを活用できないか

将来像2 <多様な住まい>

1. 空き家を改修した戸建住宅や住環境を継承した新築戸建住宅を流通しやすくする

㉓若年世帯向けの改修・建替え（1票）

2. 老朽化した集合住宅を改修した住宅を流通しやすくする

㉔賃貸住宅住戸のリノベーション（1票）

- ・UR賃貸住宅に若年世代を呼び込む魅力化が必要

3. 老朽化した集合住宅の建替等により、多様な住宅の供給を目指す

◆老朽化した集合住宅の建替等により、多様な住宅の供給をめざす（2票）

- ・若年世代が住みたいと思う駅近マンションの建設（分譲・賃貸）
- ・若者を呼び込むには、駅前空間に関する議論も長期的にしていくべきでは。
- ・マンションへの商業施設等を整備しては。

◆金剛第三団地の建て替え（2票）

- ・エレベーター付きの住宅にするために、耐震や勉強会に取り組み、建替えも含め検討中。

将来像3 <豊かで多機能>

2. 大規模な土地での建物更新や空き施設活用により、生活サービス機能を導入する

◆商業施設の再整備（意見多数）

- ・ピュア金剛跡や銀座商店街の活性化
- ・ピュア金剛跡は、まちの顔となる場所にある。活用等の方向性を示してもらおうよう、再生指針に書き込んでどうか。

◆商業施設等生活サービスを提供する複合施設の設置（1票）

㉗空き家を活用したカフェの導入（-）

- ◎子どもや子育て中の親、1人暮らしの高齢者の方向けなどの食堂の手伝い

㉘空き家を活用した交流拠点づくり（1票）

- ・図書館のサテライト等

3. 用途地域などの法規制のあり方を検討する

㉙多機能なまちに転換してくために適正な法規制に変更（1票）

- ・若年世代を呼び込む飲食店等ができやすい用途に変更するなどしてはどうか。

4. パブリックスペースの魅力づくりに取り組む

㉚芸術等の視点を取り入れた魅力づくり（1票）

㉛地域団体等による公園の管理と運営（1票）

- ・金剛地区にはシンボルとなる空間が必要。寺池公園を住民参加、多世代の手で再生できればよいのでは。

- ◎花の手入れの手伝いならできる

④5 公園への施設誘致（1票）

- ・ショップがたくさんあるまちとなれば、活気も出て、高齢者の外出機会等にもなる。

◆公園のリニューアル（1票）

- ・金剛プール・青少年スポーツセンターも含めた中央公園全体のリニューアルが必要では。
- ・中央公園は、災害時の避難場所として位置づけ、改善してはどうか。

◆ベビーカーも押しやすい住宅地内の遊歩道の整備（1票）

- ・住宅地内で、ベビーカーも押しやすい、歩きやすい遊歩道を整備してはどうか。
- ・寺池公園側に遊歩道を整備することも可能では。

◆プールの復活（意見多数）

- ・子どもが屋外で遊べる場所が少ない。
- ◎掃除など、ボランティアできることはしたい。

5. 周辺地域との交流などにより、新たな魅力づくりに取り組む

④7 農村地域との交流（1票）

- ・農村地域で働き手がなくて休耕している農地もあり、それを手伝うような交流プログラムを考えたい。

④8 学生と連携した地域の魅力づくり（1票）

④9 地域外から人を呼び込むイベント等の開催（1票）

将来像4 <住民が育てる>

1. 再生事業の推進・実行主体となる「(仮称)金剛地区まちづくり会議」を設立する

⑤1 住民主体で金剛地区活性化に向けた取り組みを企画・実行（1票）

- ・防災等の分野別の専門部会を横につなぐ連絡会が必要。個々の問題を共有、解決していく横のつながりが必要。

◎NPO団体などの様々なネットワークをもった方の呼び込みや補助金申請等のお手伝い

2. 住民や地域団体等が盛んに交流できる、まちづくり活動の拠点をつくる

⑤2 ふらっと立ち寄ることのできるフリースペース（2票）

◎各種イベント（バーベキュー、ゲーム大会、異業種交流会 …）

◎郵便局の閉鎖後のスペースで、地域住民が楽しめる居酒屋をしたい。

- ・地区内のあちこちでできればよい（例えば、久野喜台に1か所…等）。

◆高齢者など、多世代の交流の場づくり（5票）

- ・ピュア金剛跡を活用して、高齢者の交流、多世代がふれあえる場などができればよい。
- ・災害時の不安がある。普段から交流しておくことが重要では。
- ・高齢者の男性やひきこもりがちの方も来やすい場づくり、世代を超えた交流が重要では。
- ・健康の観点から考えると、笑うことが大事。漫談のビデオ上映などをして「キョウイク（今日行く）」「キョウヨウ（今日用事がある）」という大きな目的を持った場をつくっては。

◎交流の場ができれば運営のお手伝いができる

◆コミュニティスペース（1票）

- ・ピュア金剛跡を活用したコミュニティスペース（カフェ・文化施設）、スーパー誘致など。

◎自治会活動の経験を活かして、住民活動の企画等の旗振りができる

◎積極的に関わり、運営の手伝いならできる

◆図書館の整備（意見多数）

⑥地域の活動情報等の拠点（2票）

- ・地域活動等の発信基地（地域活動の情報周知する場、金剛独自のテレビ、ラジオなど）、地域団体をネットワークする交流拠点があればよい。
- ・地域が取り組むプログラムをつくるべき。市もそれを支援するしくみを準備してほしい。
- ・プラットフォームのようなコミュニケーションが広がる拠点もあればよい。

■リーディングプロジェクトの取り組み方等について

- ・具体的に取り組みをすすめていくには、「2H5W」（どうやって、予算、何を、どこで、いつ、だれが、なぜ）を考えることが必要。何から手をつけるか優先順位をつけて考えていくことができればよいと思う。
- ・すでに取り組んでいる先進地（例えば、移動支援なら大阪狭山市など）に取り組みの方法等聞きながら、具体化していったらどうか。大阪狭山市ではコミュニティバスが運行しているが、なぜ隣の富田林市ができないのか。
→富田林市内は、複数のバス事業者が運行しており、どこでも運行できるというわけではない。（事務局等）
- ・地域内の連携について、すぐにでもできることから手をつけてはどうか。
学校で掃除をしているときに、地域も一緒にするなどの学校と地域との連携。
防災やスポーツ等の分野における横の連携。
→高辺台では、高辺地域連携ネットという組織を立上げ、3の自治会を統括している。私たちは、「自分たちが思ったことは自ら行動する」という精神のもと、活動している。現在、高齢者の買い物支援策等の検討・交渉中。

4. その他

○今後の予定について

- ・次回意見交換会は、10～11月を予定。
- ・10/29（土）午前9時～ 大谷大学大学生とまちあるきワークショップを実施する予定。企画に関するご意見等あればいただきたい。

○地域への意見交換会の報告等について

- ・意見交換会での議論内容を各委員で、町会・自治会等に報告いただきたい。（事務局）